



テールやボディ上部など、随所に丸みを帯びたデザインを取り入れたNV350をよりシャープに仕上げるのがこのエアロのテーマ。1BOXには角張ったデザインが似合うというのが、同社の持論でもある。ホイールはディモーター・アブソリュートの20インチをチョイスする。

350のフェイスイメージがガラリと変化! 新機軸のパーツ群を擁する新ブランド誕生

グリル+フルバンパーで
迫力のグリルデザイン!

↑グリルはアングルドストラットをライト側にまで広げ中央部にフィンを設けたデザイン。張り出しやエッジの立ち方などで存在感をアピール。バンパー部の開口も同サイズで統一。サッパは凸凹を強調した立体感あふれるデザイン。純正バンパーにも装着できるのがウレシイ。

↑デザインの核となるのが、同社が得意とするパーツ。ドアミラー、フットランプを組み込んだ機能に加え、レンズ部を斜めに立ち上げるデザインが、NV350のヘッドライトのイメージにジャストフィット。



ルーフスポイラーは逆コの字形状にして、その左右端はボクシな仕上がり。ルーフ上方向に行くほど丸まっているNV350の形状を私拭するため、あえて角張ったデザインを採用している。



スポーティーな
ディフューザー形状



アベストブランドでインテリアパネル(9点セット)とワッドコンビハンドルをリリース。随所にピアノブラックを使うパーツ群が、コクピット回りにシブクな統一感をもたせられる。



↑リフレクターとディフューザー1風デザインを取り入れたリア。分割パーツに見える効果と美しさを表現した。1サイドはあえてドアパネルを狭くせず、シャープで軽快なサイドビームを作る。ツバサ形状のボトム凸凹も印象的だ。



ジャパンメイドの
高品質と使い勝手のよい荷室

早くもベッドキットを用意してきたのも1BOXカスタムを十分に研究していることがわかる。4枚構成のベッドマットを使い、フレームは5段階の高さ調整(32cm~52cm)が可能。日本製なのもポイントだ。



バンパー上部の開口をグリルとつなげた大胆で斬新な発想により、攻撃的なデザインになっているフルバンパー。大型のエンブレムを削除することで角張ったグリルフレームの採用なので、キリリと引き締まったNV350フェイスを演出する。

AVEST

● ベースカー/ NV350キャラバン・プレミアムGXナロー 平成25年型
● 協力/アベスト ☎053-414-5416 www.avestoparts.jp/
PHOTO/早川俊昭

■PARTS MENU フロントフルバンパー4万2000円、フロントリップ3万7500円、純正交換グリル3万9000円、サイドステップ5万7500円、リアバンパー4万7000円、リアウイング3万7500円、リアリフレクター1万3500円、エアロフルセット27万4000円、ドアウインカーミラー(塗装済み)2万6800円、ピアノブラックウッドハンドル2万7000円、ピアノブラックウッドパネルオープン価格、WINGSリアベッドキット5万2800円

ドアミラーのスペシャリストとして、数多くの車種対応品やデザインをラインナップしている「アベスト」ブランドが、ミラー製作で培ったデザイン力を生かしてエアロ製作をスタート。その第一弾としてデビューしたのが、このNV350なのだ! デザインを担当したのは元某メーカーのデザイナーというだけに、各部の造形はササガの完成度だ。アベストのNV350デザインの基準になっているのは、やはりドアミラーだ。日産系の汎用品を使うのではなく、あくまでもNV350に合わせたドアミラーをデザイン。吊り上がったヘッドライト形状のイメージにフィットさせるべく、ドアミラーにも発光部を斜めに立ち上げるラインを投入する。ノーマルのNV350の雰囲気より引き立てるこだわりの力作なのだ。

そんなドアミラーとマッチして、ハイレベルな全体の統一感を求めて製作されたエアロのコンセプトは、NV350をよりシャープ&攻撃的に見せることだった。そこで丸みを持つ各部を私拭して、エッジの利いた鋭角的なフォルムを作り出したのが特徴になっている。

さらに注目したいのは、なんとといってもフロントフェイス。太いフィン形状のグリルにフルバンパー、フォグの開口も五角形デザインでシャープさを追求。またバンパー側の開口をグリルとつなげることで、強烈なインパクトを持つ巨大なグリルデザインになっている。

リップは、ボトム部でグッと突き出すメリハリあるデザインに。しかもこのリップは、写真のようにフルバンパーへの装着に加え、純正バンパーにもフィットするのだ。デモカーの組み合わせ以外に、純正バンパーに対してグリルとリップだけを装着するライトなアレンジも可能なので、ライト派も要注目だ。